

編集・発行/いたみ雅治事務所
〒411-0035 三島市大宮町3-14-15
Tel & Fax: 055-975-7896
https://m-itami.com/

ふるさと三島市を
もっと元気にするために
活動しています!



変わる交通 ～新しい移動のカタチ・公共ライドシェア～

① いま、移動が大変になっている?

最近、「移手段がなくて困っている」「買い物に行くのが大変」という声を多くいただきます。その背景には、次のような問題があります。

- 高齢者の免許返納が増えている
- バスや電車の利用者が減っている
- 運転手さんが足りず、交通機関の維持が難しくなっている
- コロナ禍や燃料費の高騰で、交通会社の経営が厳しい

こうした状況の中、**移動に困る人を支える新しい仕組み「公共ライドシェア」**に注目が集まっています。

② 公共ライドシェアってなに?

バスやタクシーの運行が難しい地域で、**市町村やNPO法人等が「自家用車」を使って移動を支援する仕組み**で、通常のタクシーよりも安く、地域の皆さんが利用しやすいようになっています。すでに全国各地で導入が進んでおり、新しい移動のカタチとして期待されています。

③ 来年度からの取り組み

この新しい移手段をもっと広げるため、次のことに取り組みます!

- 市町村の導入をサポート! → 仕組みづくりを自治体と一緒に進めます。
- どんな方法がベストか調査! → 地域ごとに実証実験を行い、最適な運用方法を検討します。



茨城県境町での視察の様子

「免許を返納したら、移動できなくなって不安…」など特に一人暮らしの方や高齢の方にとって、病院や買い物への移動は大きな問題です。そんな中、最近では**自動運転バス**も登場し、新しい移手段の可能性が広がっています。私は茨城県境町で最先端の自動運転バスを視察し、安全で便利な移動システムを体験しました。どこに住んでいても、安心して移動できる社会へ。皆さんの声を大切にしながら、引き続き取り組んでまいります!

物価高騰対策の補正予算について

最近、物の値段が上がり、家計や仕事への負担が大きくなっています。静岡県では、合計84億円の予算を確保し、物価高騰への対策として、以下の支援を行います。

① 病院・福祉施設・私立学校への支援

病院や福祉施設、私立学校では、電気代や物の値上がりで負担が増えています。そこで、運営の負担を少しでも減らせるよう、補助金を支給します。

② 農家・漁業・畜産業への支援

燃料やエサの値段が上がり、経営が苦しくなっている農家や漁業者の方々を支援します。

③ LPガス(プロパンガス)の支援 **手続不要**

家庭で使うLPガス(プロパンガス)の料金を1世帯あたり最大1,600円支援し、家計の負担を軽くします。

この支援は手続不要で、自動的に適用されます。

静岡県では、LPガスの利用者が都市部の都市ガスよりも多く、価格が高止まりしているため県が直接支援を行い、家庭の負担を減らします。

④ 中小企業・個人事業主の支援

物価高騰で仕入れ値が上がっているお店や会社をサポートするため、新しいビジネスに挑戦する人や、事業を効率化したい人が利用できる補助金を用意しました。

詳しくはこちら ▶



エネルギー(電気・ガス)への支援は?

電気代やガス代の負担を減らすため、国と県が役割を分担して支援しています。

国が支援するもの → 電気料金(低圧・高圧)、都市ガス、ガソリン代

県が支援するもの → 特別高圧の電気料金、LPガス(プロパンガス)

東部地域の医師を増やします!

静岡県では医師不足が続いており、特に**東部地域は医師の数が少なく、必要な医療を受けにくい状況**です。県ではこれまで、医学修学研修資金(医学生への支援制度)などを活用し、県内の医師を増やしてきましたが、現在この制度を利用している**703人の医師のうち、東部地域で働いているのは114人だけ**であり、まだまだ十分とはいえません。

この課題を解決するため、東部地域に医師を増やすための新たな取り組みを進めています!

目標

県はこれらの取り組みを進め、**令和11年度までに東部地域の医師を80人増やす**ことを目指します。

「近くにお医者さんがいなくて困る」「必要な診療を受けられない」
——そんな不安をなくし、誰もが安心して病院にかかれる環境をつくる
ことが大切です。県としても、医師の確保を進め、
東部地域の医療体制を充実させるために全力で取り組んでいきます!

